

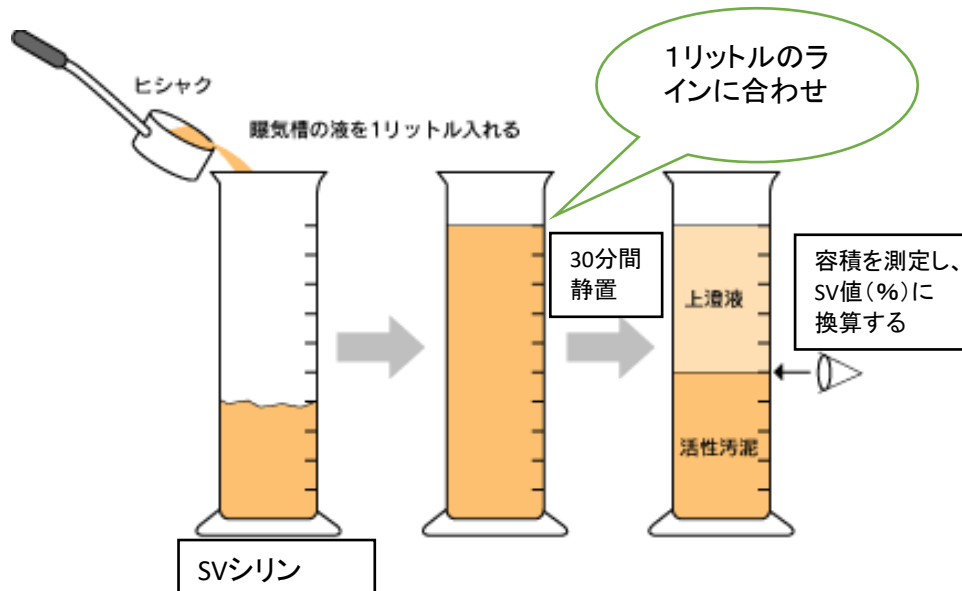
SVシリンダーの使い方

SV (sludge volume 活性汚泥沈殿率)

SVは一般的にSV30の事をいいます。

SV30は曝気槽混合液を1リットルのメスシリンダーに採水し、30分間静置した後の沈殿した汚泥の容積 (ml) の割合を%で表した数値です。

SVシリンダーは活性汚泥沈殿率 SV30を測定する器具になります。



- ヒシヤク等を使い、SVシリンダーに曝気槽の混合液を採取する。
 - 採取する場所は連続式ならば曝気槽の最後の場所付近
 - 回分式ならば汚水を投入してから3時間以上曝気したもの
- 素早く1リットルのラインに合わせる。
- そのまま30分間静置する。
- 30分後、沈殿した活性汚泥の容積を測定する(測定後の液は元の槽に戻してください)。

次の計算式により活性汚泥沈殿率 SV30(%)を求めます。

$$\text{活性汚泥沈殿率 SV30(\%)} = \frac{\text{沈殿汚泥容積(ml)}}{1000} \times 100$$

例) 30分後の沈殿した活性汚泥容積が550mlだった場合

$$\text{活性汚泥沈殿率 SV30(\%)} = \frac{550(\text{ml})}{1000} \times 100 = 55\% \text{ になります。}$$

備考

SVIは“個液分離のしやすさ”、“バルキングの有無”等の目安になります。

SVIは通常1リットルのメスシリンダーで行いますが、他の容量や材質では数値が異なることがあります。

SVIは“SVI”とは異なります。